

アンケート……………1
 アンケート……………2
 3月2日・講演会……………3
 平成13年度事業報告
 平成14年度事業計画……………4
 6月22日・研修会……………5
 Information……………6

Point

設立後初の講演会を
開催しました

神戸市介護 サービス協会だより



神戸市介護サービス協会 | 〒651-0086 神戸市中央区磯上通3-1-32 神戸市社会福祉協議会内
 TEL 078 (271) 5326 FAX 078 (271) 5366 Email kaigo@with-kobe.or.jp

事業者 アンケートの 結果 (概要)

協会では、今後の協会事業を展開していくにあたり、昨年12月に会員事業所の管理者・従事者向けにアンケートを実施しました。以下にその概要を報告します。

対 象 会員事業者（7団体に所属する法人・事業者・その従事者）
 実施期間 平成13年12月6日～28日
 アンケート結果の概要
 回答数 管理者 **420** 人 従事者 **480** 人 合計 **900** 人

回答者が所属する事業種類

| 事業種類 | 管理者 | 従事者 |
|-----------|-------|-------|
| えがあの窓口 | 14.4% | 18.0% |
| 訪問介護 | 8.1% | 11.4% |
| 訪問看護 | 5.2% | 5.2% |
| 通所介護・リハ | 8.1% | 14.5% |
| 短期入所 | 7.1% | 8.7% |
| 介護老人福祉施設 | 3.6% | 6.3% |
| 介護老人保健施設 | 2.8% | 8.8% |
| 介護療養型医療施設 | 1.7% | 2.5% |
| 居宅療養管理指導 | 19.5% | 3.2% |
| 福祉用具貸与 | 4.5% | 3.2% |
| 住宅改修 | 2.8% | 2.7% |
| その他 | 3.4% | 2.7% |
| サービス実施なし | 18.8% | 12.8% |
| 計 | 100% | 100% |

回答者の職種（重複回答あり）

| 職種 | 人数 | 割合 |
|-----------|-----|-------|
| 管理者 | 420 | 43.0% |
| ケアマネジャー | 119 | 12.2% |
| 訪問介護員 | 58 | 5.9% |
| 介護職員 | 74 | 7.6% |
| 指導員・相談員 | 55 | 5.6% |
| 事務員 | 17 | 1.7% |
| 薬剤師 | 110 | 11.3% |
| 保健師・看護師 | 90 | 9.2% |
| P T ・ O T | 8 | 0.8% |
| 栄養士 | 4 | 0.4% |
| 福祉用具相談員 | 11 | 1.1% |
| その他 | 10 | 1.0% |
| 計 | 976 | 100% |

回答内容について 若干のコメント

研修の希望内容

管理者・従事者ともに多い内容は、「医学知識」「介護技術」「痴呆対応」「住宅改修・福祉用具」
 従事者に多い内容は「ケアプラン」「レクリエーションやりハピリ」「他の事業所との交流」「住宅改修・福祉用具」「制度概要」「対人援助技術」「他の制度」

必要とする情報

回答の多い内容としては、「他事業所の事業内容や特徴」「待機や空き情報」「制度のQ & A や解説」「最新情報」
 その他の情報として管理者に多い内容は、「制度の実施状況」「事故・苦情情報」。従事者に多いものは「インフォーマル情報」

サービス提供上の課題

回答の多い内容としては、「サービスの内容」「サービス計画」「サービス・施設不足」「サービス担当者会議」
 その他の課題として従事者に多い内容は、「介護技術・知識不足」「利用者・家族との意見調整」「人手不足」「事務処理の多さ」。
 管理者に多い内容は「医師との連携」

協会への意見要望

「保健・医療・福祉の連携による成果への期待」や「ケアマネジャーと主治医の連携できるシステム作りを」「制度見直しへの働きかけ」など。

介護保険制度に対する意見・要望

「煩雑な事務の簡素化」「ケアマネジャーの独立制」「医療保険と介護保険の区分けの明確化」「報酬への不満」など。

各設問に共通する回答

「ホームヘルパーのレベルアップ」「ケアプラン作成時の担当者会議の不十分さ」「医療との連携不足」「報酬への不満」などがある。

従事者の生の声として、訪問介護では「家政婦と混同される」「医療行為との線引き」「家事・介護・複合の境界」への困惑が見られ、ケアマネジャーからは「多忙」とあわせて「連携不足」「十分なプランができない」などの不安が見られる。

従事者からは、同業他事業所や異業種との交流・意見交換の場としての事例検討会を望む声があり、研修を通しての工夫が必要ではないかと思われる。

ケアマネジャーからは「何でも相談できるアドバイザー」「スーパーバイザー」「駆け込み寺」など相談窓口を望む声が多い。関連情報が従事者まで届かないとの声もあり、会員への情報提供での配慮や、事業所内での周知に工夫が必要ではないか。利用者・家族の制度についての理解不足を嘆く声も多いが、一方で行政に「知らない市民も多いので、わかりやすくPRを」との要望もあり、一層の周知が望まれる。

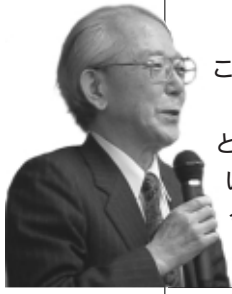
アンケートへのご協力ありがとうございました。紙面では十分お伝えできませんが、詳しく知りたい方は事務局までご連絡ください。

介護保険関連の
情報誌・新聞のご紹介

会員アンケートの回答には管理者・従事者ともに各種の情報へのニーズが多いことがわかりました。そこで、情報源として一般的な雑誌や新聞についてご紹介します。

| 名称 | 発行元 | 発行頻度 | 経費 | 名称 | 発行元 | 発行頻度 | 経費 |
|---|------------------|------------|------------|---|---------------|------|-----------|
| every (エブリイ) | 中央法規出版(株) | 季刊誌 | 定価720円 | 週刊 社会保障 | (株)法研 | 週刊誌 | 定価714円 |
| コンセプト=ホームヘルパーのしごと応援マガジン | | | | コンセプト=ニュース・解説・実務・論評の専門誌 | | | |
| 電話03-3379-3861 URL http://www.chuohoki.co.jp | | | | 電話03-3562-3611 URL http://www.sociohealth.co.jp | | | |
| おはよう21 | 中央法規出版(株) | 月刊誌 | 定価920円 | 月刊福祉 | (社福)全国社会福祉協議会 | 月刊誌 | 定価1,020円 |
| コンセプト=介護専門職の総合情報誌 | | | | 電話03-3581-9511 URL http://www.fukushinohon.gr.jp | | | |
| 電話03-3379-3861 URL http://www.chuohoki.co.jp | | | | ふれあいケア | (社福)全国社会福祉協議会 | 月刊誌 | 定価1,020円 |
| 介護支援専門員 (株)メディカルレビュー社 | 奇数月誌 | 定価1,500円+税 | | コンセプト=介護のプロへの応援誌 | | | |
| コンセプト=ケアマネジャー必携の専門誌 | | | | 電話03-3581-9511 URL http://www.fukushinohon.gr.jp | | | |
| 電話06-6223-1468 URL http://www.m-review.co.jp | | | | 日経ヘルスケア21 | 日経BP社 | 月刊誌 | 定価2,400円 |
| 介護福祉 | (財)社会福祉振興・試験センター | 季刊誌 | 定価860円 | コンセプト=医療・介護の経営情報 | | | |
| コンセプト=介護専門情報誌 | | | | 電話03-5696-1111 URL http://medwave.nihheibp.co.jp/nhc/ | | | |
| 電話03-3486-7511 URL http://www.sssc.or.jp | | | | やさしい手 | 婦人生活社 | 奇数月誌 | 定価720円 |
| 月間 介護保険 (株)法研 | 月刊誌 | 定価1,223円 | | コンセプト=介護をラクにする | | | |
| コンセプト=介護保険に携わる人の情報誌 | | | | 電話03-3815-7332 URL http://www.fujinseikatsusha.co.jp/ | | | |
| 電話03-3562-3611 URL http://www.sociohealth.co.jp | | | | 週刊 福祉新聞 | (株)福祉新聞社 | 週刊新聞 | 年額18,900円 |
| 月刊 総合 ケア | 医歯薬出版(株) | 月刊誌 | 定価1,500円+税 | 電話03-3581-0431 FAX03-3581-0433 | | | |
| 電話03-5395-7616 URL http://www.ishiyaku.co.jp/ | | | | シルバー産業新聞 | (株)シルバー産業新聞社 | 月刊新聞 | 年額6,500円 |
| ケアマネジャー | 中央法規出版(株) | 月刊誌 | 定価1,000円 | 電話06-6766-7811 URL http://www.silversangyo-news.co.jp | | | |
| コンセプト=保健・医療・福祉のクロスオーバーマガジン | | | | AGING エイジング | エイジング総合研究センター | 季刊誌 | 定価560円 |
| 電話03-3379-3861 URL http://www.chuohoki.co.jp | | | | コンセプト=高齢社会対策の情報誌 | | | |
| コミュニティケア | (株)日本看護協会出版会 | 月刊誌 | 定価1,000円+税 | 電話03-3265-2343 URL http://www.ask.ne.jp/aging/ | | | |
| コンセプト=在宅ケアに携わるすべての人に | | | | ほうもん看護 | (財)日本訪問看護振興財団 | 月刊新聞 | 年額3,150円 |
| 電話03-5275-2471 URL http://www.jnapc.co.jp | | | | コンセプト=21世紀の在宅ケアを切り拓く | | | |
| GP net ジービーネット | (株)厚生科学研究所 | 月刊誌 | 定価1,000円 | 電話03-5275-3581 URL http://www.jvnf.or.jp/ | | | |
| ケアを科学する最先端情報誌 | | | | | | | |
| 電話03-3400-6070 URL http://www.kouseikagaku.com | | | | | | | |

(注) このほかにも情報誌はあります。書店で販売しているものもありますが、印のものは神戸市社会福祉協議会の福祉ライブラリーでもご覧いただけます。福祉ライブラリー 中央区磯上通3-1-32 こうべ市民福祉交流センター2階 電話 271-5307 URL http://www.with-kobe.or.jp



平成14年3月2日(土)に、楠公会館において、設立後初めての講演会を開催いたしました。

吉岡理事長の開会あいさつに続き、野尻武敏先生(兵庫県ヒューマンケア研究機構理事長・生活協同組合コープこうべ理事長)から、「共に支え合う長寿社会づくり」と題して講演いただきました(講演要約は下記に記載)。

続いて、神戸市保健福祉局高齢福祉部介護保険課の森田文明課長から、「介護保険の実施状況と今後の取り組み」と題して、神戸市での介護保険の実施状況について、介護保険制度施行後の状況など、具体的数字をあげて報告いただきました。また、平成14年度の神戸市における介護保険関連施策について説明をいただきました。最後に、今後の課題として、在宅サービスの利用促進、サービスの質の向上など10項目にわたる課題について説明いただき、近藤副理事長の開会あいさつをもって、第1回目の講演会の幕を閉じました。

講演 「共に支え合う長寿社会づくり」 要約は以下のとおりです(文責:事務局)

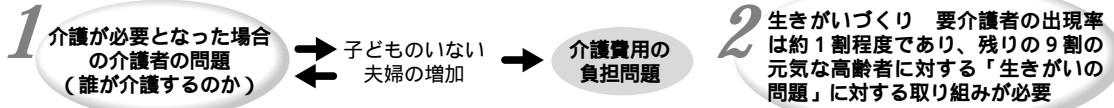
長寿化によるさまざまな事象と問題

「人生80年時代」から「人生90年時代」へ → 戦後の平均寿命の急激な伸び

出生率の低下と長寿化 → 高齢化の進行、人口の減少 → 超高齢社会へ

超高齢社会の到来 → 高齢者全般に関する問題として、社会保障関係への影響(負担率の増加等) → 社会保障制度の変革が必要

制度変革に対する2つの課題



長寿社会における介護

「高福祉国家 = 高負担国家」 ↔ 「高福祉低負担国家」に成りうるのは、高齢化率が非常に低く、経済が勢いよく成長している場合だけ。 → 高福祉低負担国家は、現実的にはあり得ない。

これまでの先進諸国の介護 = 公の保障(公助)中心 = 「福祉国家」

家族・地域(共同体)での介護(共助) = 「福祉社会」

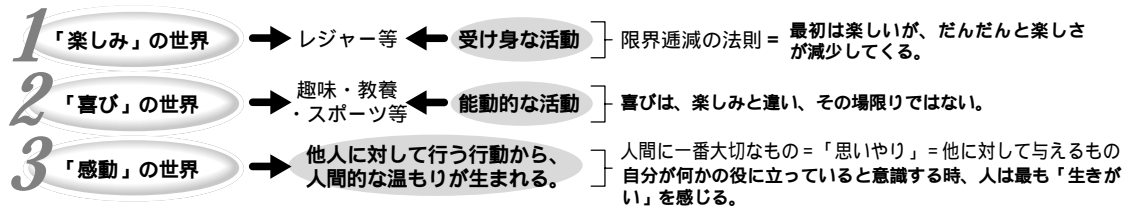
自分のことは自分です(自助)

↓
これからの長寿社会 = 「福祉国家」から「福祉社会」への移行

「生きがい」問題に対する対応

高齢者の大きな問題 → 自由な時間をいかにして生き生きと過ごすか。 → 「生きがい」づくり

生きがいづくりの3区分



↓
「福祉」とは、もらうものではなく、自分で創り上げていくもの

これからの社会のあり方

戦後の日本は、唯権利主義 = 要求民主主義

本来の民主主義には、「権利」とともに「義務」がある。

「要求民主主義」から「参加民主主義」へ → 自らできることは自らで行い、個人でできない場合は助け合いで、それでダメなら行政で行う。

福祉における労働とは、成果による評価される労働 = 賃金と、働くこと自体に意味がある労働が融合したもの。

→ 報酬を得るためだけでなく、他の人のために働くこと自体にも意味がある。

高齢者にも、働くこと自体に意味のある活動をしたい人は多くいる。 → 介護が必要な高齢者、高齢者の「生きがいづくり」の両面にとって有効な方法

講演会が盛大に開催される

March 2, 2002

平成13年度

事業報告

Progress report

1. 組織運営

(1) 運営委員会の定期開催

介護保険に関連する諸課題の整理、今後協会で実施していく事業、会議の定例化(隔月ごとの開催)等について協議しました。

重点課題 = 「保健・医療・福祉の連携」

情報共有を図る上での課題整理と具体的共有方法の検討(平成14年度継続)

研修小委員会の設置 研修時期・内容等の検討

(2) 部会組織の運営

部会ごとの課題検討、部会単位での事業内容の検討、部会の定例化(隔月ごとの開催)等について協議しました。

居宅介護支援サービス部会

ケアマネジャーと医療・サービス事業者間の情報共有のための様式検討

情報共有様式検討のための小委員会を設置

(平成14年度に継続)

情報共有様式の検討にあたっては「神戸市ケアマネジャー連絡会」との協力

ケアマネジャーが使用しやすい様式の検討

ケアマネジャーが必要とする基礎的医学知識の研修カリキュラム検討

在宅サービス部会

情報小委員会の設置 現場レベルでの情報交換のあり方の検討

研修小委員会の設置 サービス従事者への研修の検討

施設サービス部会

施設入所・入院、施設間移動での利用者情報(特に医療情報・感染症情報)の共有方法の検討(平成14年度継続)

身体拘束問題についての取り組み方法の検討(平成14年度継続)

2. 会員事業所の把握と会員データの整備

協会に団体加入する7団体の会員事業所の把握を行うため、加入事業所の把握とデータベース化を促進

3. 事業要望調査(アンケート)の実施

会員事業者の意見、要望等を事業に反映するため、事業所管理者・従事者を対象にアンケート調査を実施しました。

実施期間 平成13年12月6日~28日

回答数 900名(管理者420名、従事者480名)

集計概要 1面を参照ください。

4. 介護保険に関する情報の提供

設立記念総会、講演会を通じて、介護保険の実施状況・課題等の情報提供

「協会だより」創刊号の発行 協会設立概要、講演内容要旨、研修予定等

各団体の研修会・作品展等の情報を提供し、構成団体の活動をPR

5. 各種研修会の開催

講演会

日時 平成14年3月2日(土) 午後2時~4時30分

内容

「共に支え合う長寿社会づくり」

(財)兵庫県ヒューマンケア研究機構理事長

生活協同組合コープこうべ理事長 野尻武敏氏

「介護保険の実施状況と今後の取り組み」

神戸市保健福祉局高齢福祉部介護保険課課長 森田文明氏

ケアマネジャー習熟研修

(神戸市社会福祉協議会市民福祉大学、神戸市シルバーサービス事業者連絡会との共催)

日時 平成14年3月22日(金) 午後1時~4時

内容

「住宅改修の成功例と失敗例」

(神戸市シルバーサービス事業者連絡会)

「住宅改修と介護保険」

神戸芸術工科大学工業デザイン学科助教授 相良二郎氏

6. 設立記念総会の開催

日時 平成13年11月29日(木) 午後2時30分~5時

内容

設立報告

記念講演「介護保険の動向と今後の展望」

厚生労働省老健局振興課課長補佐 野村知司氏

平成14年度

事業計画

Future plans

1. 組織運営

(1) 運営委員会の開催

「保健・医療・福祉の連携」をテーマに、協会としての統一的に取り組む諸課題の検討を行うとともに、各部会で個別に取り組む課題・事業内容の調整を行います。

(2) 各部会の開催

介護保険の各分野別の課題の検討を行うとともに、運営委員会での調整を通して、協会として一貫性のある取り組みを行います。

2. 個別課題に対応するための小委員会の開催

協会が実施する具体事業の企画・実施等を集中的に検討するため、必要に応じて小委員会を設置します。

3. 会員データの整備

協会に団体加入する事業所の把握及び協会会員法人・事業所データのデータベース化を引き続き促進します。

4. 協会事業への要望把握

広く会員からの事業要望等を聞き取るため、研修会等を通じてアンケートを実施し、分析します。

5. 介護保険に関する情報の提供

最新の介護保険情報、協会事業の案内等のため、「協会だより」の定期的発行に加え、協会のホームページを立ち上げ、必要に応じて随時情報等を提供します。

6. 各種研修会の開催

介護保険に関連する知識・技術の向上のため、全会員事業者を対象とした研修会を年間4回開催します。また、ケアマネジャーや訪問介護事業者のサービス提供責任者対象の継続研修会を開催します。

各団会で実施する介護保険に関連する講演会・研修会に、必要に応じて共催・後援等を行い、他団体の事業者への参加勧奨をするなど効果的・効率的な研修を実施します。

7. 総会の開催

神戸市介護サービス協会の事業報告・事業計画、決算・予算、役員交代等について、広く会員に報告するため、総会を開催します。

8. こうべケアマネジャーのつどいの開催

ケアマネジャー相互の情報交換や関係者との連携を深め、今後のケアマネジメントに資するため、神戸市社会福祉協議会との共催により「こうべケアマネジャーのつどい」を開催します。

研修会 を開催 しました

平成14年6月22日（土）に、神戸市医師会館ホールにおいて、研修会を開催いたしました。山口理事の開会あいさつに続き、兵庫県神戸県民局企画県民部健康福祉課の岩井文子課長から「実地指導から見た介護サービス」と題して講演をいただきました。続いて、兵庫県国民健康保険団体連合会介護サービス苦情処理専門員の正田喜代子氏から「苦情相談事例から見た介護サービス」と題して講演をいただきました。最後に、神戸市保健福祉局高齢福祉部介護保険課調整指導係の上田智也係長より、現在厚生労働省で審議中の介護報酬体系の見直し案について説明をいただき、佐野理事の開会あいさつをもって研修会の幕を閉じました。

講演の要約は以下のとおりです（文責：事務局）。

講演 実地指導から見た介護サービス

居宅サービス提供事業者の指定状況

神戸市平成13年度 新規指定 121件
廃止 38件

最近における指定取り消し

平成12年4月～平成14年5月 全国で30事業者、43事業所

実地指導上の留意点

1. 人員に関する基準および勤務体制の確保について

人員に関する基準及び勤務体制がきちんとして守られていないのが現状

- （例）産休中の看護師の補充がなされていない
事業所の職員数が基準を下回っている
一定の資格を有する者がサービスの提供を行わなければならないにもかかわらず、資格の確認がきちんとなされていない

2. 内容及び手続きの説明、同意について

利用申込者に対する重要事項の説明や同意に関する事項
108事業所中78事業所が改善指導を受けている

利用者保護の観点に立ち、利用申込者がサービスを選択するために必要となる重要事項に記載漏れがないよう一度確認が必要

3. 重要事項あるいは事務所の運営規定の概要等の掲示の徹底

兵庫県神戸県民局
企画県民部健康福祉課 課長 岩井 文子 氏



4. 身体拘束の禁止

施設全体で身体拘束廃止に対する積極的な取り組みを求める

5. 利用料の受領について

保険給付と二重にならないようにする
費用の内訳を明らかにする
運営規定を定め、重要事項として掲示をする
利用料は実費相当額の範囲内に設定する
利用者または家族に事前に十分な説明を行って、同意を得てから徴収する
同意は文書で行う

6. サービス計画の作成について

サービス計画の作成がきちんとしてできている施設とそうでない施設のばらつきがある

サービス計画についてはきちんとして記録を残す

7. 介護給付費の算定の取り扱い

（例）機能訓練指導員の配置がなされないまま算定されている
入院、外泊時の費用も算定している
施設の月平均入所者数が入所定員を超えていたにもかかわらず、減算を行わずに算定している

講演 苦情相談事例から見た介護サービス

兵庫県国民健康保険団体連合会
介護サービス苦情処理専門員 正田 喜代子 氏



国民健康保険団体連合会苦情相談窓口の位置づけ

介護保険法第176条に基づき、介護保険事業の円滑な運用に資するため、介護サービス利用者からの苦情を受け付ける

苦情相談事例から見える問題点

「契約の問題」

サービス提供拒否事例

在宅の場合

次回利用の拒否理由 = 痴呆、セクハラ、利用者とのコミュニケーションがうまくいかない、過剰なサービス要求等

問題が発生したからといって即サービス提供をうち切ることはいけません

利用者の家族、ケアマネジャーと話し合い、対応を施設の場合

病気、痴呆を理由としての入所拒否・退所勧告が多い
利用者の状況把握がきちんとしてされていない

他のサービス事業者、主治医と連携し情報提供を受けながら、利用者の心身状況の把握につとめる

「質の問題」

介護職員・ヘルパーの技術レベルが低い 技術の向上をめざす

「職員の態度や説明不足の問題」

（例）事故が起こった場合に説明しない
違う理由をつけられた

管理者と職員とで説明が異なる

トラブルが発生したら、家族に速やかに連絡をとり、「その時点で確実にわかっている事実」を告げること
軽率な回答は後日誤解を招くものになる

「記録の問題」

記録がない = 証明するものがない 自分たちを守る意味でも記録はしっかり残す

「被害・損害の問題」

身体的被害（事故によるけが、感染症）
物的被害（ものの破損、紛失）
金銭的被害（利用料金の計算ミス、要介護認定の申請ミス）

「利用者側の問題」

利用者と家族の意見が異なる
利用者の過剰なサービス要求
セクハラ行為

一概に事業者ばかりを責められない

事故・クレームは決して恥ずかしいことではなく、とんでもないことでもなく、当たり前
クレームの中から利用者のいいことや、改善してほしいことを聞き取って、次に生かせれば、苦情ではなく、宝の山になる

（参考）兵庫県国民健康保険団体連合会では、苦情相談事例集をホームページで公開していますので、ご覧ください。

URL <http://www.kokuhoren-hyogo.or.jp/>

| 平成14年 | | 2月 | 7日 | 平成13年度第2回運営委員会研修小委員会 |
|-------|----|-----|----|-------------------------|
| | | 14日 | " | 居宅介護支援サービス部会 |
| | | | " | 施設サービス部会 |
| | | 18日 | " | 在宅サービス部会 |
| | 3月 | 2日 | | 神戸市介護サービス協会 講演会 |
| | | 7日 | | 平成13年度第3回運営委員会 |
| | | 22日 | | ケアマネジャー習熟研修(住宅改修研修会) |
| | 4月 | 8日 | | 平成14年度第1回在宅サービス部会 |
| | | 11日 | " | 居宅介護支援サービス部会 |
| | | | " | 施設サービス部会 |
| | | 17日 | " | 在宅サービス部会情報小委員会 |
| | | 18日 | " | 運営委員会研修小委員会 |
| | | 22日 | " | 在宅サービス部会研修小委員会 |
| | | 25日 | " | 居宅介護支援サービス部会小委員会 |
| | 5月 | 2日 | " | 運営委員会 |
| | | 15日 | | 平成14年度第2回在宅サービス部会情報小委員会 |

| | | |
|----|-----|----------------------------|
| 6月 | 10日 | 平成14年度第2回在宅サービス部会 |
| | 13日 | " 居宅介護支援サービス部会 |
| | | " 施設サービス部会 |
| | 22日 | 神戸市介護サービス協会 研修会 |
| 7月 | 4日 | 平成14年度第2回運営委員会 |
| | 6日 | 縛らないケア - よりよいケアをめざして - 研修会 |
| | 8日 | 平成14年度第2回在宅サービス部会研修小委員会 |
| | 11日 | 平成14年度第1回理事会 |

今後の予定(期日確定分のみ)

| 平成14年 | | 7月 | 17日 | 平成14年度第3回在宅サービス部会情報小委員会 |
|-------|--|----|-----|-------------------------|
| | | 8月 | 5日 | " 在宅サービス部会 |
| | | | 8日 | " 居宅介護支援サービス部会 |
| | | | | " 施設サービス部会 |
| | | 9月 | 5日 | " 運営委員会 |

役員・部会員の变更について

1. 理事・監事

| 役職 | 変更前 | | 変更後 | |
|------|-------------------|-------------------|------------|-----|
| 理事 | 氏名 | 近藤七郎 | 本庄昭 | 昭 |
| | 所属団体 | 社団法人神戸市医師会 | 社団法人神戸市医師会 | 副会長 |
| | 氏名 | 前田紀一郎 | 佐伯壽一 | 一 |
| 所属団体 | 神戸市シルバーサービス事業者連絡会 | 神戸市シルバーサービス事業者連絡会 | 会長 | |
| 氏名 | 木村政美 | 松田俊雄 | 俊雄 | |
| 所属団体 | 社団法人神戸市医師会 | 社団法人神戸市医師会 | 副会長 | |
| 監事 | 氏名 | 奥田陸夫 | 藤原克昌 | 昌 |
| | 所属団体 | 社団法人神戸市医師会 | 社団法人神戸市医師会 | 監事 |

2. 運営委員

| 担当部会 | 変更前 | | 変更後 | |
|--------------|------|------------|------------|----|
| 居宅介護支援サービス部会 | 氏名 | 本庄昭 | 岡田幸也 | 也 |
| | 所属団体 | 社団法人神戸市医師会 | 社団法人神戸市医師会 | 理事 |
| 在宅サービス部会 | 氏名 | 松田俊雄 | 妹尾栄治 | 治 |
| | 所属団体 | 社団法人神戸市医師会 | 社団法人神戸市医師会 | 理事 |

変更前の役員・部会員については所属団体のみ記載しています。

3. 部会員

| 部会 | 変更前 | | 変更後 | |
|----------|------|-----------------|---------------------|--------------------------|
| 在宅サービス部会 | 氏名 | 平石彰 | 野村文明 | 明 |
| | 所属団体 | 兵庫県老人保健施設協会神戸支部 | 神戸社会保険介護老人保健施設 副施設長 | 兵庫県老人保健施設協会神戸支部 |
| 施設サービス部会 | 氏名 | 濱野聖二 | 長坂肇 | 肇 |
| | 所属団体 | 社団法人神戸市医師会 | 長坂医院 院長 | 社団法人神戸市医師会 老人保健・在宅ケア部 部員 |

4. 臨時部会員

| 部会 | 氏名 | 上段(勤務先・職名) 下段(所属団体) |
|--------------|-------|---|
| 居宅介護支援サービス部会 | 福田陽子 | 訪問看護ステーションゆめ 所長・介護支援専門員 兵庫県訪問看護ステーション連絡会 神戸ブロック |
| 在宅サービス部会 | 有本としみ | しあわせ訪問看護ステーション 管理者・介護支援専門員 兵庫県訪問看護ステーション連絡会 神戸ブロック |

神戸市からののお知らせ

介護保険施設等開設の事業者募集について

介護保険施設等の平成15年度整備について、下記のとおり事業者の募集を行いますので、整備をお考えの方は、下記までお問い合わせください。

事業者は、応募された事業計画を審査の上、決定いたします。

- 募集内容 **特別養護老人ホーム、介護老人保健施設、痴呆性高齢者グループホーム**
(なお、痴呆性高齢者グループホームは、補助金をもらって整備しようとする事業のみを募集します。)
- 提出資料 **事業計画書 原本1部**
(様式は高齢福祉課で配布いたします。)
- 提出期限 **平成14年8月30日(金)午後5時**
- お問い合わせ先 **神戸市保健福祉局高齢福祉部高齢福祉課施設整備係 担当 山下、村上、新明**
電話 **078-322-5226(直通)**

個別加入のご案内
協会では、左記の団体加入会
員(団体一括加入)の7団体に加入
されていない法人・事業所等
で、神戸市内で活動を行う介護
サービス事業所を運営する法
人・事業者や介護サービス関連
事業を行う団体を対象に、個別
加入の受付を行っています。
詳しくは、協会事務局までお
問い合わせください。
団体加入会員(団体一括加入)
神戸市老人福祉施設連盟・兵
庫県老人保健施設協会神戸支
部・社兵庫私立病院協会神戸
支部・神戸市シルバーサー
ビス事業者連絡会・社神戸市
医師会・社神戸市歯科医師
会・神戸市薬剤師会
右記の7団体に所属する会員

約5ヶ月ぶりの「協会だより」の発行となりました。会員の皆さまにご協力いただいたアンケートの集計結果をはじめ、平成13年度事業報告、平成14年度事業計画等、盛りだくさんな内容となりましたが、いかがでしたでしょうか。今後も、会員の皆様のニーズに即した記事づくりを心掛けていきたいと思っておりますので、よろしく願いいたします。

(と)